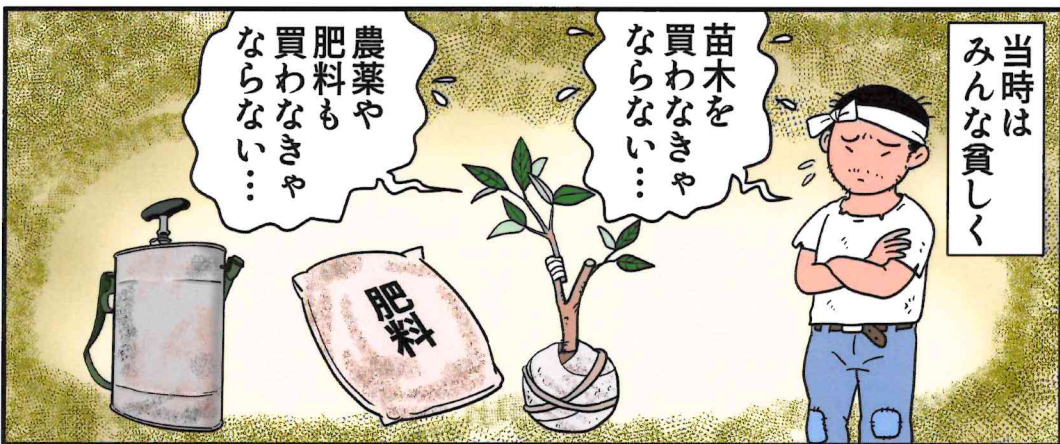
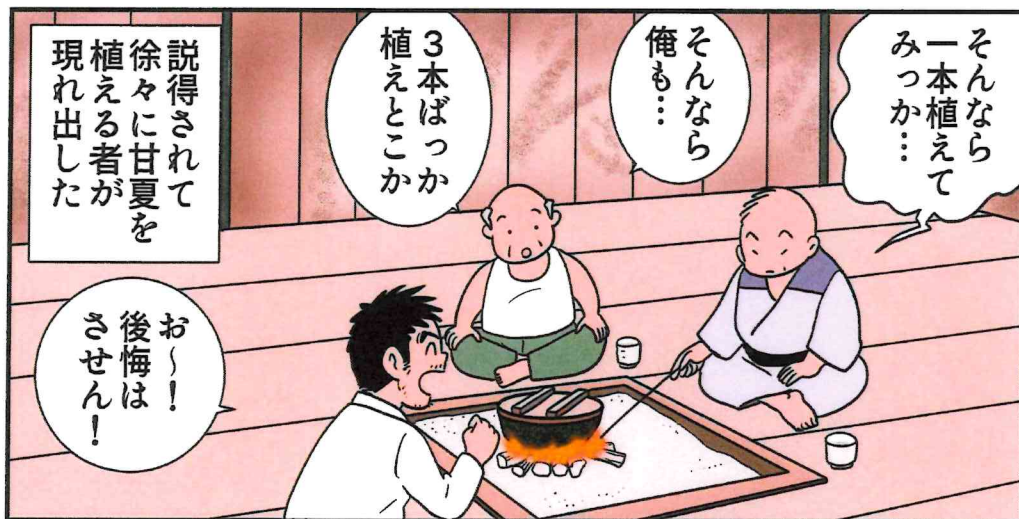
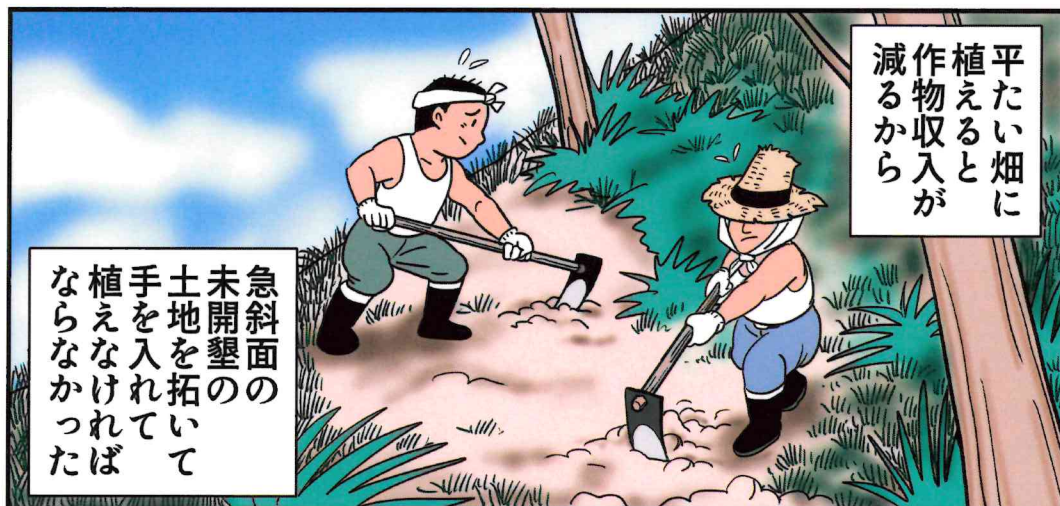
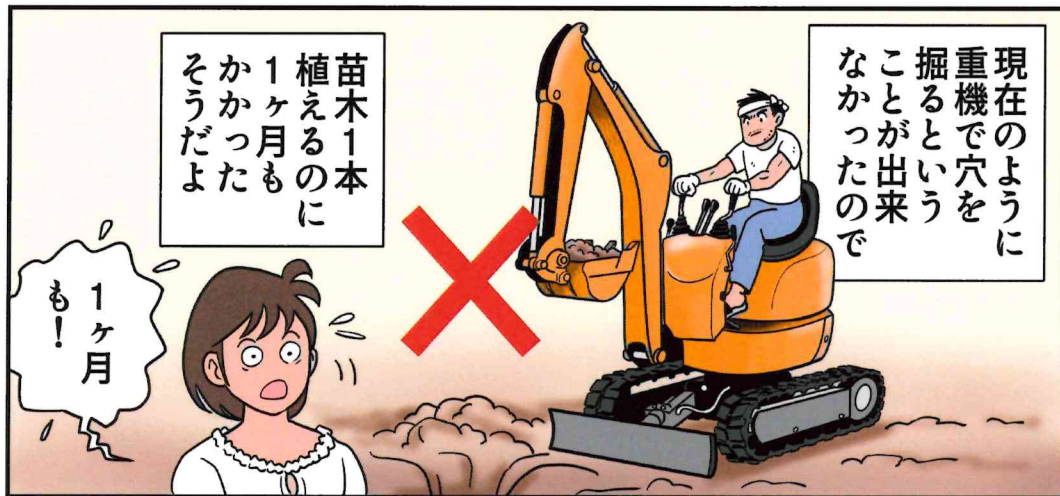
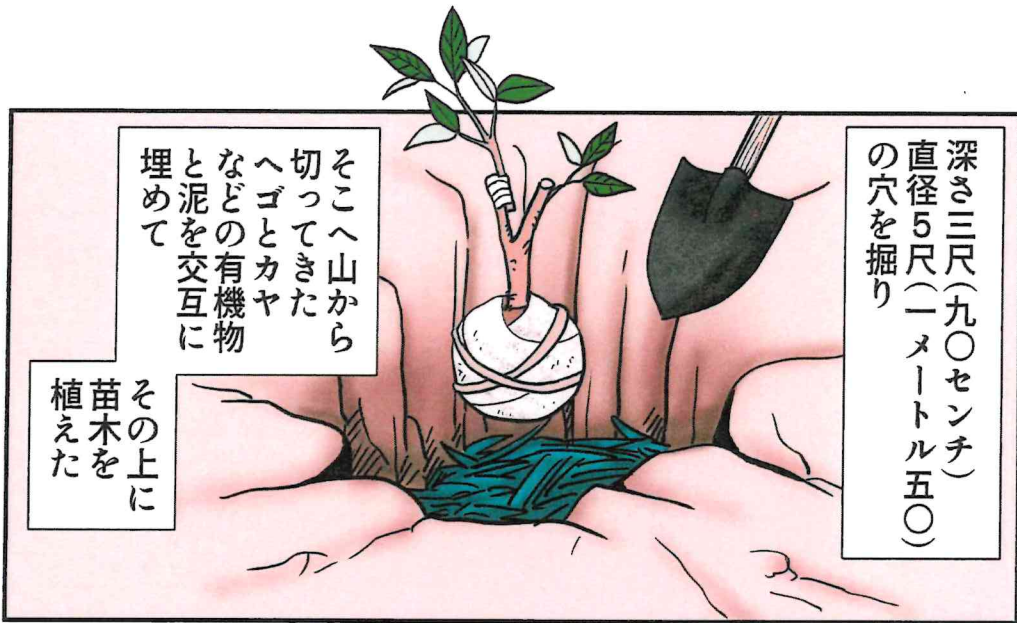


第四章 試行錯誤









深さ三尺(九〇センチ)
直径五尺(一メートル五〇)
の穴を掘り

そこへ山から
切ってきた
ヘゴとカヤ
などの有機物
と泥を交互に
埋めて

その上に
苗木を
植えた



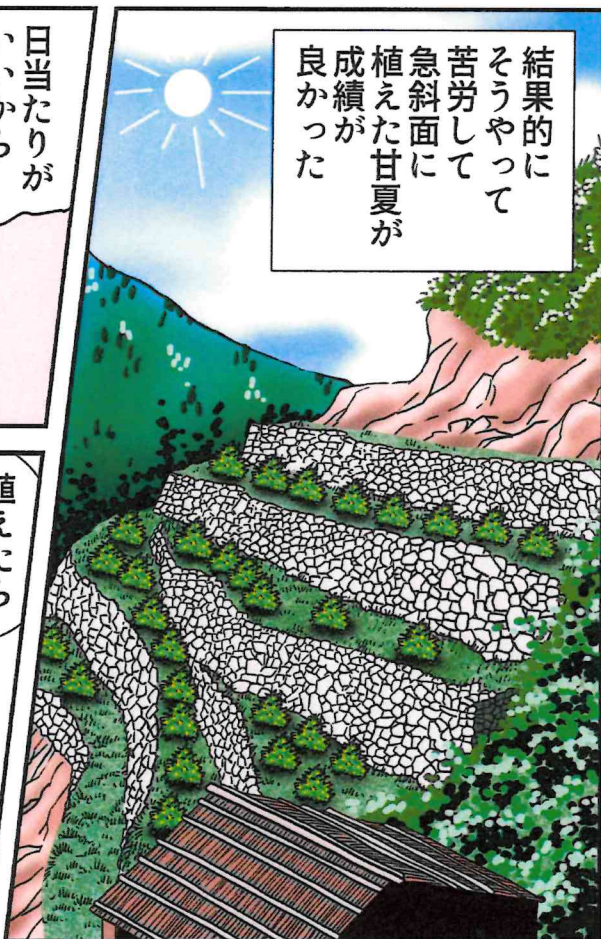
日当たりが
いいから
かしらね…

そんなに
大変だった
んだ…

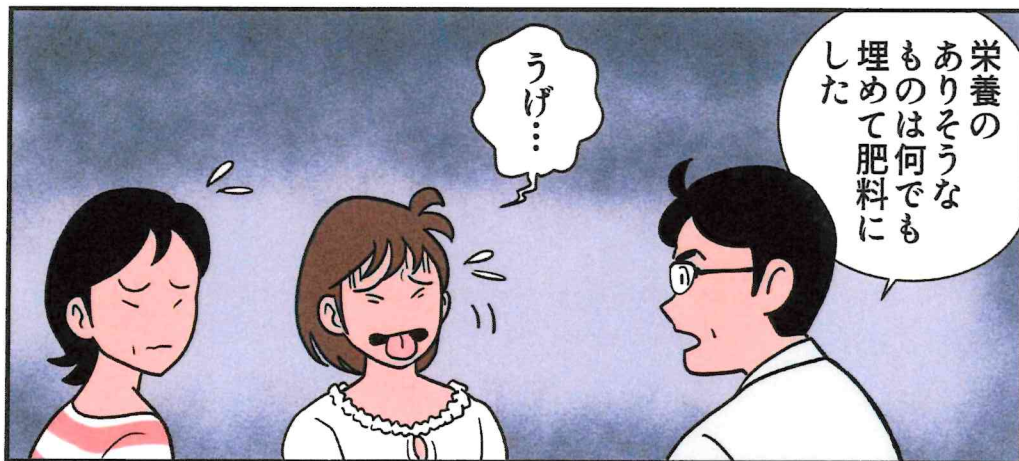
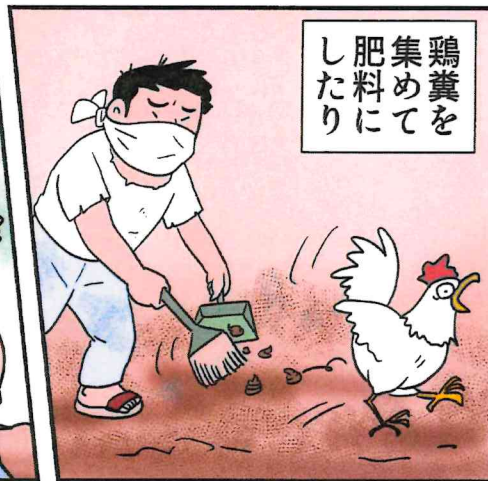
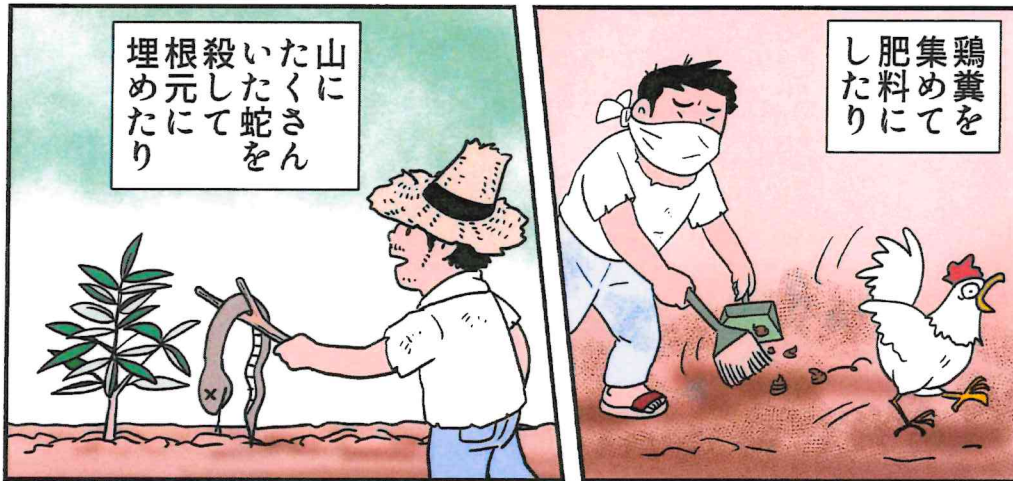


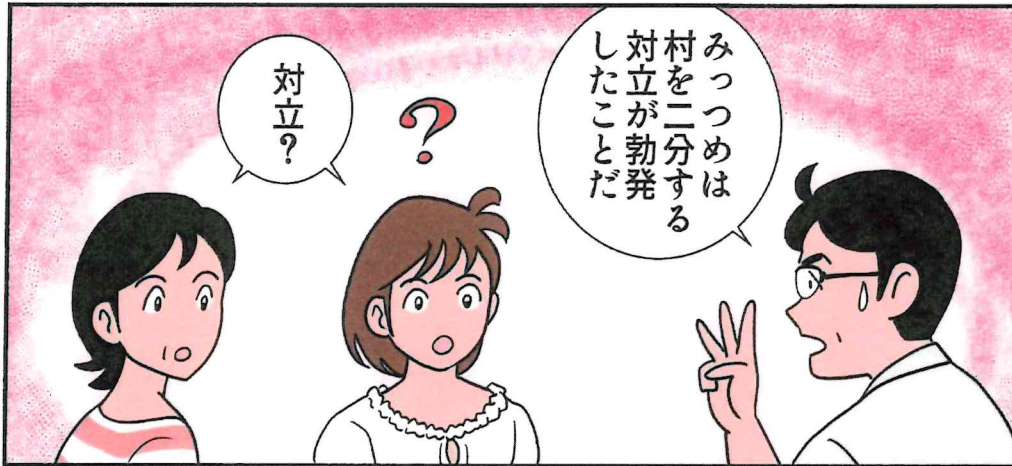
植えたら
植えただ

次は
肥料を
やらないと
いけない



結果的に
そうやって
苦労して
急斜面に
植えた甘夏が
成績が
良かった







対して若者や復員軍人が温州みかんを強行に押し進めた



年配の者は将来の収入を見据えて甘夏を促進



温州みかんと同じ所に甘夏ば植えたら

温州に種が出来る

そしたら缶詰にした時に種の跡が欠けたとが出来て

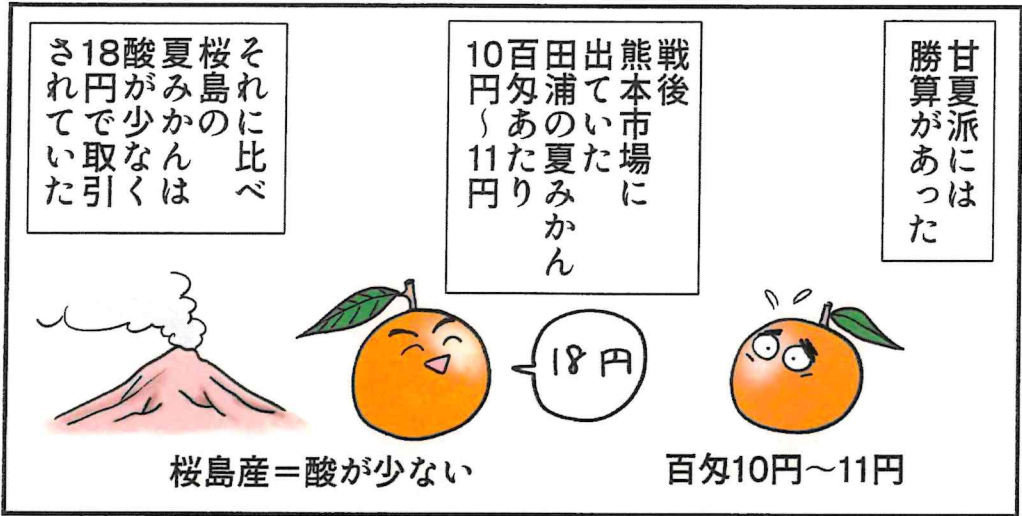
売り物にならない!



甘夏ば引っこ抜け!

なんばすつとか

絶対甘夏の方が儲かる! 伐ったらいかん!



それと比べ
桜島の酸は
夏みかんは
酸が少なく
18円で取引
されてきた

戦後
熊本市場に
出た
田浦の夏みかん
百匁あたり
10円~11円

甘夏派には
勝算があった

桜島産 = 酸が少ない

百匁10円~11円



後発の
甘夏は
桜島のより
酸が
少ない!

20円で
取引され
るはず!



今でさえ
温州みかんより
甘夏の方が
何倍もの値で
取引されて
いるだろう!

なくんば
日本人は
温州みかんたい
数が多か方が
収益が上がる
やろもん!

